

エコパーク通信

平成29年9月号

活動の様子



情熱の花咲く岬

エコクラブ会員

片山 智哉



近年は、活動資金や表彰・名声ありきの活動がもてはやされており、成功事例として紹介されることが多くなったと感じる。

しかし、御前崎エコパークに足を運びエコクラブの活動を見ると、人の活動の始まりは「情熱」であり、それこそが「まちづくりの根っこ」の部分であろうと実感する。賢い人は、「その根からいったい何の花が咲くのか？」が気になるのだろうが、エコクラブでは、それよりもなんでもいいから「花を咲かせよう」とする活動や、今この瞬間に行動し実践する勇氣こそが、大切なのだということを教えてくれる。

仕事柄、初夏から夏の時期には、夜に港方面で会議があることが少なくない。薄暗くなった午後7時頃、ヤシの木通りを車で通り、その暗がり中、エコパークで整備している人影を見ると、そうした一人一人の情熱が、きっとこの地域でしか咲かない『大きくて特別な花』を咲かせることになるのだろうと思う。

何かしらの理由をつけて行動しない人、反対に何かしらの意義を考えて行動する人、その両者がいるのが社会であるのは承知の上だが、できればその行動する人の汗を感じ、その情熱に応えるまち、「御前崎」になってほしいと願うし、自分は自分の情熱で汗をかくべきなのだと教えられる。そうした情熱の連鎖が、このまちを訪れる人を感動させ、その共感力の創造こそが「まちづくり」なのだと思う。



(栗の実)



ランタナ



百日草 (白)



マンリの花



アメジストセージ



曼珠沙華 (赤)



曼珠沙華 (白)

曼珠沙華の見頃は、9月下旬の予定です。是非、お出かけください。

御前崎エコクラブ会長 山本貴美枝
静岡県御前崎港管理事務所